

授業の概要

小児歯科治療の概要を学び、その目的および臨床的位置づけと歯科技工の関わりを理解する。治療に用いる装置の目的、構成、使用材料と製作法を理解する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 小児歯科技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：水曜日 18：00～19：35
- オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 水曜日 17：00～17：45
- 成績評価：定期試験(80%)，平常試験(20%)として評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。
- 授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第8回時に平常試験と解説を実施する。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：河野隆之：歯科医院を開業しながら校医等も務めている。小児歯科臨床の経験を基に歯科医師の立場から、本教科で学ぶ内容の理論がいかに重要であり活かされるかを講義する。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回10月30日 市川 裕美	1. 咬合誘導装置の種類 2. 保隙装置 1) 必要条件と分類 2) クラウンループ保隙装置 3) バンドループ保隙装置 4) ディスタルシュー保隙装置 (教) pp38-50	<ul style="list-style-type: none"> ・装置の使用目的および構成を説明できる。 ・使用材料と器具および製作法と製作上の注意点を説明できる。
第2回11月6日 河野 隆之	3. 小児歯科技工概説 4. 歯・顎・顔面の成長発育(1) (教) pp1-14	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科学の目的およびその臨床的な位置づけを説明できる。 ・小児歯科技工の特徴を説明できる。 ・小児の成長発育について説明できる。 ・顎顔面の成長発育について説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第3回 11月13日 市川 裕美	2. 保隙装置 5) 舌側弧線装置 6) ナンスのホールディングアーチ 7) 可撤保隙装置 (教) pp51-60	<ul style="list-style-type: none"> 装置の使用目的および構成を説明できる。 使用材料と器具および製作法と製作上の注意点を理解する。
第4回 11月20日 河野 隆之	5. 歯・顎・顔面の成長発育(2) (教) pp15-33	<ul style="list-style-type: none"> 歯と歯列の発育について説明できる。 歯の萌出・交換の順序, 時期を説明できる。 歯列の特徴を説明できる。
第5回 11月27日 市川 裕美	6. スペースリゲーター 1) 目的 2) 拡大ネジを応用したスペースリゲーター 3) アダムスのスプリングを応用したスペースリゲーター 7. 咬合誘導装置に用いる維持装置 (教) pp61-68 pp72-80	<ul style="list-style-type: none"> スペースリゲーターの目的と構成を説明できる。 咬合誘導装置に用いる維持装置の特徴と製作法を説明できる。 小児歯科治療に用いられる各種装置の特徴および製作上の注意点を説明できる。
第6回 12月4日 市川 裕美	8. 口腔習癖除去装置 9. 小児歯科技工の注意点(1) (教) pp69-71	<ul style="list-style-type: none"> 口腔習癖の種類と口腔への影響を列挙できる。 口腔習癖除去装置の目的と種類を説明できる。 小児歯科治療に用いられる各種装置の特徴および製作上の注意点を説明できる。
第7回 12月11日 市川 裕美	10. 小児歯科技工の注意点(2)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科治療に用いられる各種装置の特徴および製作上の注意点を説明できる。
第8回 12月18日 河野 隆之	11. 小児の歯冠修復 (教) pp34-37 平常試験・解説	<ul style="list-style-type: none"> 小児の歯冠修復の種類と特徴を説明できる。 第1回から第7回までの理解度を確認する。 理解度の低い箇所について知識を深めることができる。